

## JAグループ栃木において中央会が果たしてきた役割

平成26年7月15日

JA栃木中央会

中央会は、農業者・JAの意見を踏まえ、農業所得の増大と暮らしの安定をめざし、JAが組合員に対して永続的に事業・サービスを提供できるよう支援しています。このため、組織代表機能と指導機能が最大限に発揮できるよう以下の事業に取り組んでいます。

### I. JAグループ栃木の代表機関としての機能【組織代表機能】

＝JAの意見を踏まえJAグループを代表して対応する機能

#### 1. 組合員・JAの意見を踏まえ、農業所得の増大をめざす農業政策の確立に向けて、国・県に提案する役割を果たしています。《農政活動》

<主な取組み>

- 農業生産額の増大、コスト削減等により農業所得を増大するための農業政策の確立と予算措置の国・県への要請活動
- 福島原発事故による組合員(農家)の損害に関する東京電力への損害賠償の請求・受領と組合員への支払い
- 農業や暮らしへの影響を最小限に抑えるため、TPP(環太平洋経済連携協定)交渉に関して国会議員等に対する要請活動等
- 降霜や降雪等の自然災害時の農業生産活動や暮らしの復旧対策支援

#### 2. 地域の皆様に安全・安心、そして新鮮な県産農畜産物を消費していただくよう各種メディアを通してお知らせしています。県産農産物の消費拡大は組合員の農業経営を支えることにも繋がります。《広報活動》

<主な取組み>

- 地元の農畜産物を選んで、食べて、食について考える「みんなのよい食プロジェクト」の展開

### II. JAグループ栃木の指導機関としての機能【指導機能】

＝JAの組織・事業・運営に関する指導を実施する機能

#### 1. 組合員・地域の皆様が安心してJAをご利用いただけるよう、JAの法令遵守(コンプライアンス)や経営合理化・効率化のための指導・助言を行っています。また、地域に影響を及ぼすJAの重要な諸課題の解決に向けて支援しています。《経営指導》

＜主な取組み＞

- J A の経営の健全性の判断基準である自己資本比率の向上対策
- J A における法令遵守(コンプライアンス)の徹底
- J A の広域合併および店舗・施設再編支援
- J A の経営改善対策の策定・実践支援
- J A の不良債権処理および破綻未然防止対策
- 不祥事件が発生した J A の再発防止策の策定・実践支援
- J A が行っている事業の電算処理業務

2. J A に対する監査を実施し、J A の業務・会計が適正に行われ、組合員や利用者の皆様の信頼や期待に応えられる業務運営体制が確立されるよう指導しています。《監査》

＜主な取組み＞

- J A の財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)の監査(=決算監査)
- J A の業務運営面の監査、改善状況の確認(事後指導)  
(会計監査の他、業務運営面の監査も実施しています。)

3. 組合員・利用者が安心かつ正確な各種サービスが受けられるよう、J A の役員・職員を対象にした教育研修を行い、人材育成を支援しています。《教育》

＜主な取組み＞

- 役員・職員向け各種研修会の開催

4. 地域農業の維持と組合員の農業経営の安定を図るため、J A の農業振興と担い手育成の取り組みを支援しています。《営農指導》

＜主な取組み＞

- 農業の担い手である集落営農組織の共同営農活動、経理、法人化支援
- 福島原発事故による県産農畜産物の出荷停止措置に伴う対応策の徹底
- 米政策改革、農業者戸別所得補償制度等の農業者への理解促進
- 安全、安心、新鮮な農産物生産のため、適切な生産管理指導と生産履歴記帳運動の徹底

5. 組合員・地域の皆様が安心して暮らせる豊かな地域づくりを目指して J A の取組みを支援しています。《J A ぐらしの活動》

＜主な取組み＞

- 介護保険法に基づく訪問介護事業、通所介護事業等の運営支援
- 健康づくりや元気な高齢者の介護予防等「J A 健康寿命 100 歳プロジェクト」(運動、食事、健診・介護・医療)の展開
- 地域の子どもたちへの食農教育

以上